

委員会レポート

予算決算 委員会



予算決算委員会に付託された議案は3件。6月20日に開催し、審査を行いました。

議案

◆議案第43号

「令和4年度弥富市一般会計補正予算(第4号)」

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について以下を問う。

問 原油価格・物価高騰に対応する交付金額は。

答 約8600万円。

問 小学校給食事業及び中学校給食事業の臨時学校給食費補助事業の費用は。

答 約2300万円。

問 補助金額設定の根拠は。

答 補助額1食当たり50円、おおむね15%の原材料高騰等に対応。

問 補助期間の想定は。

答 令和4年7月から令和5年3月まで。

問 高騰が続くときの対応は。

答 適切な時期に対応。令和2年度補助事業との違いは。

答 前は、夏休み中の授業実施に伴う給食費への補助。

今回は、食材費高騰に対し、保護者負担軽減を図る。

問 臨時学校給食費補助事業以外にどのような事業を考えているか。

答 事業の必要性、内容の妥当性を総合的に勘案し検討中。



▲医療用ウィッグ

問 アピランスケア支援事業費補助金の事業内容は。

答 令和4年4月1日以降の医療用ウィッグ、乳房補整員の購入分より、それぞれ購入費の2分の1で各2万円を上限として補助を行う。

討論・採決

付託された議案は全て原案を了承しました。

南部カントリーエレベーターとトマトセンターを 議会広報編集特別委員会で取材しました。

日時：令和4年5月25日（水）

場所：JAあいち海部・

南部カントリーエレベーター

JAあいち海部・トマトセンター



○令和3年度に南部カントリーエレベーターの増強工事が完了し、令和4年5月9日に竣工されました。この工事は、事業費7億7000万円で「強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業」が活用されました。増強工事では、県下有数の水田地帯である海部南部地区の将来を見据え、適切かつ効率的な共同乾燥調製施設の運営に向けて、施設再編計画の最重要事項の一つとして実施されたそうです。また、設備の更新等により、米の^{もみすり}粉摺や色彩選別など能力の向上が図られました。

主な新設・更新設備の概要は？

- ・粉摺設備 能力：4t/h
- ・色彩選別設備 能力：9t/h
- ・自主検査設備 能力：300□/日



○南部カントリーエレベーターの隣にあるトマトセンターも取材をさせていただきました。最新の選果設備が導入され、一層の生産体制の確立と流通の合理化が図られていました。センター内は、トマトの荷受けから色・大きさによる選別、箱詰めまでのほとんどの作業が自動化され、効率アップされていました。